



緑ゆたかな郷土を <すすむ造林事業と街のグリーンづくり>



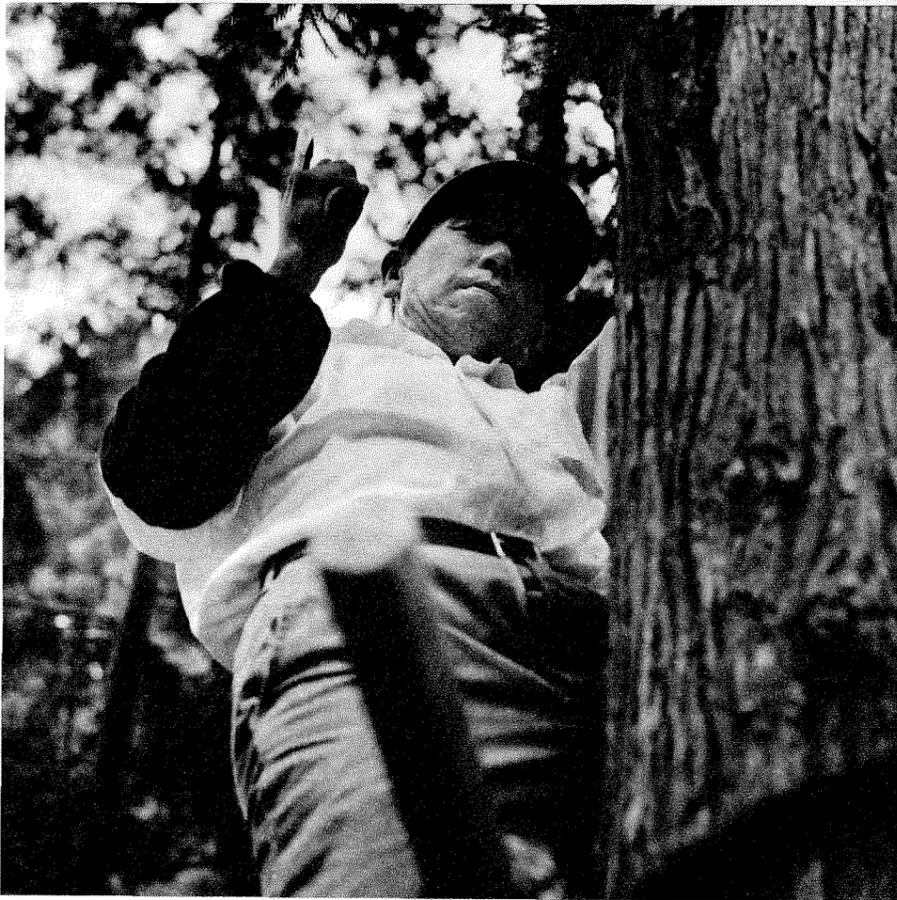
太古、神話の時代から和歌山県は『きのくに』の名で呼ばれていました。

素戔鳴尊(すさのおのみこと)の父子が本県に木種を分布され、樹木のうっそうと繁殖する国にしたという……うるわしく自然の栄えるところ、和歌山県は大地の緑がたねにほほえむ国です。

人びとの生活に憩いとよろこびを与えるのが美しい自然であり、心にうるおいと安らぎを与えてくれるのが山野の緑であり、公園の緑であり、歩道の緑です。

私たちの日常生活と切っても切れない役割をはたしている緑……その緑を代表するのは県土のほぼ8割を占める山林原野の緑です。それは山のさちを育て、水源をかん養し、県土を荒廃から守り、野生の鳥獣をいっくしみ、空気を浄化する作用をはたします。とくに最近では公害やストレスから逃れる人びと

高野町・大谷清さん(51)。47年度緑化功労者として知事賞を受賞。こどものころから造林一すじ。県内外に、すぐれた高野杉、高野檜の種子を普及するために、「ぶり縄」を駆使して杉や檜の大木の種子採取、枝打ち技術は、人間国宝的な存在。国土緑化に一生をうちこむ「木の国の顔」である。



力をいれる造林事業

林業を伸ばし、山村振興をはかり、美しい山を後世に残すためには、つねに造林をなおざりにすることはできません。いま県内の杉や檜などを植えている人工林は、林野面積全体の五十五割です。まだまだ新しく開こうとして造林できます。そこで県では、これを昭和六十年

までに八十割まで引きあげることとを目標に、造林事業と取り組んでいます。昨年国や県、公団、民間などあわせて約五千四百の造林をしました。ことしも県有林の植栽をはじめ、一般民有林に補助金を出して行なう造林事業などに積極的な力を注ぎます。

林業公社でも着々と

昭和四十三年に県林業公社が設置されました。これは造林の遅れている地域に、県が民間に肩代わりして造林を行なうための団体です。十五年計画で三千を造林する計画で、いまだに七百六十を

のびる林道

林野を高度に利用するとともに山村振興のためには、林道の整備がなにより必要です。章神から本宮までの本県山岳部を貫く大幹線電線、本宮線の開設工事をすすめているほか、大塔村から本宮町を結ぶ峯越林道もことは開通させます。

林業センターを開設

ことしの林道事業は全体で七億八千万の予算で実施します。これからの本県の林業と山村振興を考えたとき、若い人たちの新しい力が必要で、近代林業経営のない手を育成し、林業についての試験研究を充実するために、ことしから二年計画で林業センターの建設に取りかかっています。



国道沿線を緑化

有田川へりに旅を
楽しませるヤシの緑

緑の道を新設

都市に住む人びとは、休日には待ちかねたように郊外の自然を求めて飛び出していきます。一步郊外へ出ると、どこもがみずみずしい緑に溢れている和歌山県ですが、もっと身近に自然の世界がほしい……そんな願いにこたえて計画しているのが緑の道です。

和歌川に緑地帯

和歌山市内を流れる内川をきれいな川にするために、いま県では堆積した泥土のしゅんせつを行なっています。しゅんせつした泥土は河道の片側に集め、その上は緑地化して住民の憩いの場になります。現在一萬五千平方メートルの緑地が完成、本年度末までには延長約千五百メートルの区間で四萬平方メートルの広さをもつ緑地が完成する予定です。



和歌川にできた憩いの緑地

和歌公園にハイキングコース

和歌浦の展望台から東照宮、和歌浦口まで一帯の小高い山は景色のよい散歩コースです。だが道もとぎれたままで、せっかくの緑地も未開のまま。今度ここに手を加えて、苑路を

観光地はもとより和歌山県に憩いを求めてくる旅人にとって緑と花はなにより贈り物です。国道や有料道路、主要県道などに沿って、ヤシ、さくら、つばきなどを植える事業をすすめています。ことしで五年目で、いまだに有田川、切目、印南、南部、那智山など、市町村と費用折半で実施しました。また、新県民運動でも緑化運動を積極的にすすめる、その一環としての道路緑化を活発に行なっていく計画をたてています。

これは和歌山市の紀三井寺から琴の浦までの旧軌道敷跡を利用して、散歩やサイクリングなどを楽しめる緑の道路にしようというもので、将来は温山荘、紀三井寺、新和歌浦など、あちこちの名所や公園を一つにつなぐ緑の道路にする予定です。

整備し、桜の木を植樹することになりました。和歌浦湾一帯の観光地とながって、海あり山ありの健康的なハイキングコースになります。

輝く太陽とたくましく躍動する大自然。夏は、自然に親しむ絶好の季節です。太陽と自然を友として、スポーツに野外活動に汗を流すとき自然は私たちにそのすばらしさを語りかけてきます。

さいわい、私たちの郷土は、緑の山々と黒潮の海にかこまれ自然に接する機会に恵まれています。さあ、輝く太陽をあびて自然の中に飛びこみ、たくましく鍛えよう。

自然スクールを計画

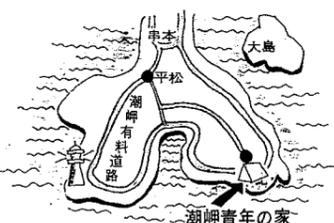
自然に親しむ運動 7月21日～8月20日
県自然保護課では、自然に親しむ運動の一つとして、八月下旬に和歌山市で自然スクールの開催を計画しています。自然スクールとは、一般の方々の参加を得てキャンプをしながら、自然観察や各種のレクリエーションを行ない、自然の正しい利用と自然保護を呼びかけていこうというものです。

◆ 青少年の施設を充実

県ではことしも、紀北青年の家(かつらぎ町、来春完成予定)の建設、県立自然公園やキャンプ場などの整備、若もの広場、ちびっこ広場の増設など、青少年が気軽に利用できる施設づくりをすすめています。



青年の家から古座川峡へサイクリングに出発



バス串本駅から潮岬行乗車 平松停留所下車徒歩25分

○利用できる人
青少年または青少年の指導者で五人以上の団体に限ります。
○こんな利用ができます
スポーツ、レクリエーション各種研修、サイクリング、ハイキング、キャンプなど。
○こんな施設があります
八十人収容の宿泊施設、研修室、図書室、体育館、運動場、

南紀青少年スポーツセンター

スポーツを通してたくましい青少年を育成しよう、日本

リエーション、各種研修、サイクリング、ハイキングなど。○こんな施設があります
二百人収容の宿泊棟、研修室、体育館、陸上競技場、柔道場、

青少年海洋訓練所

海洋県和歌山の次代を背負う青少年に、海に関する知識を普及し、体験航海や海技訓練を通して健全な育成をはかるために設けたものです。
三十三人収容の宿泊施設や会議室、艇庫などの施設があり、

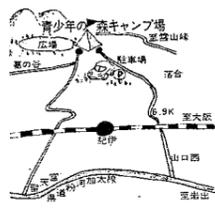
自然に親しみ たくましく鍛えよう!!



▲青少年の森で楽しいキャンプ
▲手旗信号訓練に励む 海南海洋少年団

青少年の森キャンプ場

和歌山市山口市地区の紀泉高原に、六月から九月三十日まで、キャンプ場を開設しています。管理事務所などのあるメインセンター、十三カ所百名収容のテントプレス、野外炊事場、広場などを整備しており、テントや飯ごうなども備えています。



かつらぎ山キャンプ場



かつらぎ山系県立自然公園内のかつらぎ山頂上(那賀郡那賀町)にも、キャンプ場がオープンしています。管理棟のほか、野外炊事場、キャンプファイヤールームなどを整備しています。利用は自由ですが、ルールを守って、みんなが楽しく利用できるようにしてください。

秋葉山県民プール 大新プール

七月一日～九月十日、午前十時～午後五時まで開場。
七月二十二日～八月二十日はナイター期間として、午後八時まで開放します。

海に山に、スポーツに奉仕に 活躍する仲間たち

ボーイスカウト

スカウトは、規律ある団生活やハイキング、キャンプなどによって自主性、積極性を身につけ、大自然のなかで鍛えた体力と勇気をもって、奉仕活動にも活躍しています。
県下には、二十九の団と千五百人のスカウトがいます。

ガールスカウト

ガールスカウトは、日常の団活動や野外活動から社会のルール、友情、勇気などを学び、明るい社会を築いていくためにがんばっています。
県下には、七団、百五十人のスカウトが活躍しています。

スポーツ少年団

スポーツを通じて身体と心を鍛え、団体生活の中で豊かな人間関係をつくり、どんな環境にも負けないたくましい力を青少年たち自身の中に育てていくのがスポーツ少年団の目的です。
現在、和歌山県には二百八十の団があり、一千人の団員が活躍しています。



仲間がまっています
きみも参加しよう

お知らせ

おとしより向きの仕事を
〈高齢者無料職業紹介所〉

おとしよりの方で、就職をしたい方、就職について相談をしたい方のために、次のとおり県下を巡回しています。おとしよりを職場に暖かく迎えてくださる方がありましたら、当所までご連絡をお願いします。

和歌山市中之島向の芝
県社会福祉センター二階
電話〇七三四〇二四七五七
みななそろってすこやかに!!
「町の子はみんなわが子」と考えて、水難事故、交通事故、

この七月から
国民年金の保険料が五百五十円になります!
国民年金の大幅な改正が行なわれ、夫婦二万円年金が実現しました。そのため保険料も、そよい人を選びましょう
海区漁業調整委員会委員の一般選挙が行なわれます。
これは、漁業の免許、許可などについての諮問、建議および漁業調整について裁定を行なう機関として設定されている海区漁業調整委員会の委員の任期が満了したためです。
選挙期日の告示日
七月二十三日(日)
選挙期日
八月四日(金)

瀬戸内海の環境保全についての
作文、標語、ポスター入賞者

(ポスターの部)
知事賞 雑賀慶子(御坊市)
(作文の部) 小学校
知事賞 坂口敏章(三田小五年)
(作文の部) 中学校
知事賞 赤羽玉衣(西脇中三年)

農業からからだを守りましょうのポスター入賞者
一席 垣内さなみ(九重小五年)
二席 尾崎 美保(池田小四年)

募集



地区名	日	時(毎月同じ)	場所
串本	第2水曜	1～5時	串本町役場民生課
新宮	"木"	10～4"	県事務所民生課
田辺	第3水曜	12～5"	"
御坊	"木"	10半～4"	"
湯浅	第4水曜	10～4"	"
本橋	"木"	10～4"	"

(11月は金曜)

七月の移動県民相談室(無料)

竜神村十二日(火)、白浜町二十一日(金)、貴志川町二十五日(火)、各役場で九時～四時。

夏の子どもを守ろう
非行などから地域ぐるみで守りましょう。

県政

知事 進む山村対策をみる

熊野川町→本宮町→大塔村



「新しい友だちがたくさんできました」と、大橋知事に話す千本さきみ子ちゃん (下附団地で)

県内の山村地域では、急激な人口の流出で教育、医療、交通など地域社会の基本的な生活環境が悪化し、深刻な過疎化現象が進んでいます。県と各町村では、積極的な過疎対策を進めており、集落再編整備や山村開発センター、コミュニティセンターなどの建設とともに、道路の整備や生活環境の改善に取り組んでいます。大橋知事は、六月六日から八日まで、東牟婁郡、西牟婁郡の各地を訪ね、進む山村対策の現状をみてまいりました。



緑の山々に赤い色がきれいな田戸橋

林道奥静線の田戸橋完成

七日は、東牟婁総合庁舎の竣工式に出席したあと、雨のなか熊野川町に完成した田戸橋と田戸トンネルを視察。この橋の完成によって、この地方を中心とする森林資源の開発が期待されています。

本宮町山村開発センター 本年十一月に完成予定

同じ七日、本宮町を訪問。山村再開発の拠点施設となる山村開発センターや、本宮町役場に近い温水(ぬるみ)地区に建設中の集落整備事業を視察。

大塔村集落再編整備事業完成



大塔村鮎川に完成した下附団地の全景

下川農道、百間溪谷整備の総合落成式に出席。同村鮎川に完成した下附団地では、団地内の集会施設、共同作業場、花木流通センターなどをみてまいりました。また、鮎川新橋では、同村の赤木さん親子三代の夫婦と橋の渡りぞめを行ない、午後は下川農道や、同村の有望な観光資源である百間溪谷の整備状況を視察しました。

好記録続出!! 県高校総体開く

八日は、大塔村で集落整備下附(しもつこ)団地、鮎川新橋。県高校総体の開会式は、六月三日、県宮紀三井寺陸上競技場で、県下四十校千五百人の選手が参加して行なわれました。それに先だって、二日からは県下各地で二十四の競技に熱戦が展開され、陸上競技では県高校新七、同タイ一、大会新二一、同タイ一の好記録が続出するなど、全国大会や鹿児島国体での活躍が期待されます。

元気いっぱい!!

県身体障害者体育大会開催



希望にみちてたくましく…… 元気いっぱいの選手

第十回県身体障害者体育大会は、六月十日、県宮紀三井寺競技場で行なわれ、午前十一時から開会式には九百人余の役員選手が堂々の入場行進。午後からは、車イス競走など二十一競技に元気いっぱいの熱戦を展開しました。

育協会によって建設されました。利用できる人。スポーツを愛好する青少年が。

○こんな利用ができます。スポーツトレーニング、レク。前までに県青少年企画課へ。

や適当な指導者のいる青少年グループで、(申し込みは、一週間前までに県青少年企画課へ。

母乳の農薬汚染

使用禁止で減少の傾向



Aさん夫婦には、もうすぐ赤ちゃんが生まれます。もう、ベビー用品などの準備は完了。名前もいろいろ考えて……夢は、大きくふくらみます。でも、奥さんのいった「母乳にもBHCがはいっているんですってね」という言葉が、前々から「子どもは母乳で」と考えていたAさんを、すっかり考え込ませてしまいました。

残留性の強いものは使用禁止に。害虫を駆殺しにして、農作物の増産に、大きく貢献してきた。



PCBなどの含有量を調べるのに大忙しのガスクロマトグラフ(超微量測定器)

BHC、DDTなど有機塩素系の農薬。それが今、半永久的に残留するというその性質のため人間や他の動物にまで害を及ぼすとして、使用が禁止されています。

また、残留基準を定めて、農産物などの安全性をチェックしています。本県の母乳は、まず安心。昨年の十一月から今年の二月にかけての母乳調査では、BHC、DDT、デイルドリンとも複合して、体内にはいった場合など、問題があるため、引き続き農薬使用者への指導をする一方、食品の検査、乳幼児や妊産婦の検診を行なっていく方針です。

薬剤のかわりに人はもちろんトンボやホタルも安心して生息できるような、天敵などを利用した「生物的防除」の研究が進むことを願いながら。

海洋少年団

海洋少年団、子どものときから海に親しみ、海的重要性。

狂犬病予防技術員募集。募集人員二名。勤務地 湯浅保健所、御坊保健所南部支所。詳細については、県衛生部環境衛生課または該当保健所までお問い合わせください。

国民年金保養センターを那智勝浦町に建設。建設目的 国民年金の被保険者、被保険者であった者および受給権者とこれらの家族の休養と健康増進をはかるための宿泊施設です。募集要項 名称は次のこと。募集方法 官製はがきに応募者の住所、氏名、年齢、職業を記入してください。締切日および提出先 県民生部国民年金課へ今月の末までに必着のこと。

県にPCB対策部会を設置

究明が急がれる汚染 実態調査に着手

公害対策本部会議(公害対策の総合調整および推進をするため、知事を長として県の関係部長で構成)に、このたび「PCB対策部会」を設置しました。これは、広範囲に行きわたっているPCBの実態調査および対策にあたるため、公害対策課と環境衛生課が中心になって、関係各課で構成されています。とりくみ方 さしあたって、次のような調査を進めていきます。○ 母乳調査 ○ 飲料水や流通食品の調査 ○ 河川水やヘドロの調査 ○ 工場調査 これらの調査は、国の指導方針などができるとき、ただちに対応できるように、あらかじめ資料作成しておくものです。

映画貸し出しのご案内

「黒潮国体」 カラー、16ミリ、シネマスコープ、40分
「ようこそ紀州路へ」(行幸啓記録映画) カラー、16ミリ、スタンダード、40分

各県各課、またはお申し込みください。受け付けもしています。電話での申し込みも受け付けています。

入選発表および表彰 発表は入選者に通知します。表彰は入選一点、佳作四点とし、それぞれ賞状および薄謝を贈ります。

「健康和歌山」、「福祉和歌山」を象徴するもの

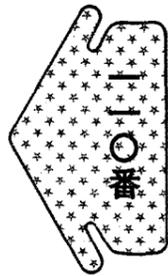
「みかん黒潮の国」和歌山を象徴するもの

「健康和歌山」、「福祉和歌山」を象徴するもの

事故が起きてからではもう遅い 高圧ガスの取り扱いに注意

このごろ、ガスの爆発事故が多発しています。一般家庭の燃料用はもとより、冷暖房用などさまざまな利用され、快適な日常生活には、かかせなくなった高圧ガス。これらの高圧ガスは、いずれも、十キログラム(毎平方センチ)以上に圧縮されています。そのため便利な反面、運搬や貯蔵あるいは使用に際して、不当な取り扱いをすれば爆発や火災などを起こします。高圧ガスを取り扱う工場や販売店、各家庭などでも危険が目についたら県総務部消防防災課指導班か、もよりの県事務所総務課へ一報ください。

このごろ、ガスの爆発事故が多発しています。一般家庭の燃料用はもとより、冷暖房用などさまざまな利用され、快適な日常生活には、かかせなくなった高圧ガス。これらの高圧ガスは、いずれも、十キログラム(毎平方センチ)以上に圧縮されています。そのため便利な反面、運搬や貯蔵あるいは使用に際して、不当な取り扱いをすれば爆発や火災などを起こします。高圧ガスを取り扱う工場や販売店、各家庭などでも危険が目についたら県総務部消防防災課指導班か、もよりの県事務所総務課へ一報ください。



ママポリス十年選手

海南市青少年補導センターの南嘉代子さん。十年前は、幼稚園の保育さんをしていました。

青少年の非行を見聞きするうちに、「この純真な子どもたちがいつごろ、どうして非行に走るのだろうか」と、関心と疑問をもつて婦人補導員になりました。

これまで、多くの子どもたちと話し合い、親しまれ、信頼されてきました。時には、だまされて失望し、子どもたちが信用できなくなつて何度もやめようと思つたそうです。

しかし、「子どもたちの非行には何か原因があり、きっと正しい道にもとすことができる」という信念と使命感が、現在までこの仕事を続けさせてきました。



子どもたちに明るい家庭環境を

た。南さんと同時に婦人補導員となった七人の方々も、みなさんがこの強い信念と使命感をもつていまも県下各地で活躍されています。

外で何をしているのか、何を考えているのかわからなくなつてしまっています。「このような時が非行の赤信号。親は心にゆとりをもつて、家庭からパパ、ママ、ガミ、イラ、ベタ、ホイを開放してほし」と、南さんは注意しています。きょうも、南さんたちママポリスは、真剣に子どもたちのことを考え、街頭補導に、少年相談にと忙しい毎日を送っています。

「子どもたちには、なんでも話し合える明るい家庭が必要で、南さんは、問題を起した子どもたちの場合をふりかえつて親と子の心のふれあいがありにも少ないということを感じるそうです。

過保護や放任で、親子の間にかよいあうパイプが通じていないとき、子どもは外部にそれをもとめるようになります。それが進んでくると、親は子どもが

教育相談

「私の子どもは科学の本ばかり読んで困ります」「文学ばかり読んで、ほかの本は見向きもしません」「理科の図鑑ばかりなんべんもくりかえして見ています」など、読書のかたよりによる相談が非常にたくさんあります。そこで今回は、このことについておこたえします。

読書のかたよりは、その子の興味や関心の方向を示しているといつてよいでしょう。それは幼児がある時期に乗り物なら乗り物に異常な関心を示すのと同じと考えてよいと思います。このようにとき、親はほかのものに目を向けさせようとして動物の絵本を与えたり、虫や草花に親しませようと努力してきたは

た。南さんと同時に婦人補導員となった七人の方々も、みなさんがこの強い信念と使命感をもつていまも県下各地で活躍されています。「このような時が非行の赤信号。親は心にゆとりをもつて、家庭からパパ、ママ、ガミ、イラ、ベタ、ホイを開放してほし」と、南さんは注意しています。きょうも、南さんたちママポリスは、真剣に子どもたちのことを考え、街頭補導に、少年相談にと忙しい毎日を送っています。

「子どもたちには、なんでも話し合える明るい家庭が必要で、南さんは、問題を起した子どもたちの場合をふりかえつて親と子の心のふれあいがありにも少ないということを感じるそうです。過保護や放任で、親子の間にかよいあうパイプが通じていないとき、子どもは外部にそれをもとめるようになります。それが進んでくると、親は子どもが

「子どもたちには、なんでも話し合える明るい家庭が必要で、南さんは、問題を起した子どもたちの場合をふりかえつて親と子の心のふれあいがありにも少ないということを感じるそうです。過保護や放任で、親子の間にかよいあうパイプが通じていないとき、子どもは外部にそれをもとめるようになります。それが進んでくると、親は子どもが



スポーツと健康

県立体育館を中心として開催中のスポーツ教室は、県民のみなさんの積極的な参加によって十教室のうち八教室が定員をオーバーするなどにごわつています。

今月は、婦人の美容体操教室に参加している、和歌山市舟津町の主婦、野田たつ子さんにスポーツ教室の感想を寄せいただきました。

はなやかに、仲よくにぎやかなスポーツ教室



「よりスマートに、より美しく」とけんめいなママさんたち

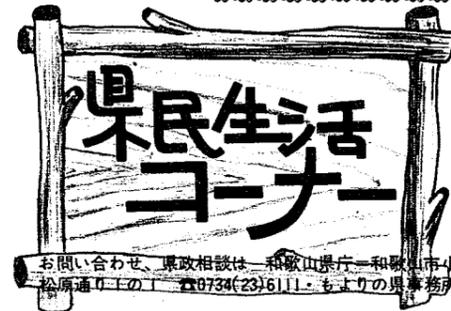
赤、青、黄といろいろなトランプ、知らない土地の人々。でも、同じ目的にむかつて、みんな楽しく誇らしそうにやっています。

たときの不安感もどこへやら、いまではユニホームを着る日が待ち遠しく楽しみです。「きょうは体操教室だね、がんばってきてねママ」「ほくろも、勉強がんばってね」と、月、木曜日には必ず、この言葉を子どもたちとかわします。夕方には、二人の子どもと祖父母が加わり、汗を流して楽しく復習です。いままでになくすばらしい家庭教育のあり方を感じ取りました。

市場への足どりも、「軽く背筋を伸ばして」という先生方の言葉が頭にくらび、日に日に身体が柔らかくなり、動作に自信と充実感がわくようになりました。

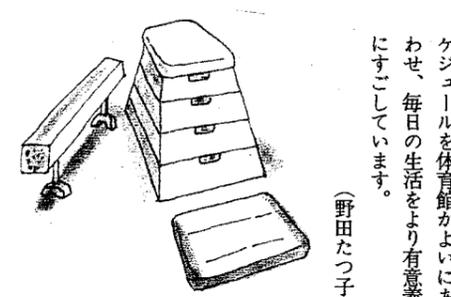
いまでは、一週間の家庭のスケジュールを体育館がよいに合わせ、毎日の生活をより有意義にすごしています。

(野田たつ子)



お問い合わせ、県政相談は和歌山県庁一和歌山市小松原通り上の ☎0734(23)6111・もよりの県事務所

「私だいたい上手になったでしょう」「お風呂上りの気分ね」「次はどんな体操をおしえてくれるの」と、スポーツを通して得たお友だちとの話題は明るくスマートです。最初、友人から「美容体操教室にはいらぬ」と誘いを受け



この講座は、どなたでも無料で受講できますが、定員は六十名ですのでお早目に申し込んでください。日時 毎週木曜日 午後一時三十分～四時 七月中の講座は次のとおりですが、八月以降は「小児の健康管理」「精神衛生の話」「県衛生研究所 公害研究所、し尿処理場、ごみ処理場の見学」「医療



消費生活

消費生活センターだより 県経済センター二階 (〇七三四)三三三二一五五一

木曜教室健康シリーズ 受講者募集中!!

PCBなどの公害問題、恐ろしい成人病の予防方法、受胎調節など衛生施設の知識、ごみ処理場など衛生施設の見学など：消費生活センターでは、七月から九月までの木曜教室のテーマを健康シリーズとして、私たちがとりまく健康の問題を中心に勉強していただくことになりました。

この講座は、どなたでも無料で受講できますが、定員は六十名ですのでお早目に申し込んでください。日時 毎週木曜日 午後一時三十分～四時

七月中の講座は次のとおりですが、八月以降は「小児の健康管理」「精神衛生の話」「県衛生研究所 公害研究所、し尿処理場、ごみ処理場の見学」「医療

薬品の知識」「最近の皮膚病の考え方」などのテーマで、講師には、県立医大の教授ほかそれぞれの専門家を予定しています。

7月6日 栄養の知識(県立医大附属病院医事相談員 福島ヨシオ)

7月13日 食中毒の予防(信受女子短大教授 木川守平氏)

7月20日 これだけは知っておきたい救急法(日赤県支部事業課長 五戸昇氏)

7月27日 害虫の駆除(県薬務課薬事班長 島田俊作)

なお、消費生活センターでは木曜教室のほか、次のような業務を行なっていますので、お気軽にご利用ください。○出張講座 消費生活に関するテーマについて、センター職員が出張講座します。○見学 センターの展示室などを見学し、ご希望のテーマにより講座を開きます。○苦情相談 テスト 商品やサービスについての相談や苦情のほか、商品テストも受け付けています。○資料の配布 映画の貸し出し

文化ニュース

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

- (大ホール) 7月17日 民音「内山田洋とクールファイブ」19時 1,000円 22日 労演「未来座「日本の公害1970」」18時15分 600円 23日 ぬいぐるみ人形劇「ムーミンの風船旅行」13時 16時 900円 600円 500円 26日 民音「ニューオーリンズジャズオールスターズ」19時 900円 27日 サンケイ子ども映画劇場 13時30分 整理券 31日 労音「ソフィア少年少女合唱団」18時30分 900円

(小ホール) 7月8日 第6回文化講座「ひらかれた幻想の世界」13時30分 無料

- 9日 ピアノ発表会 10時 無料 15日 ピアノ発表会 14時 無料 16日 ピアノ発表会 12時30分 無料 19日 ステレオコンサート 18時30分 無料 23日 大阪大学マンドリンクラブ演奏会 14時 18時 250円 30日 ピアノ発表会 12時30分 無料

近代美術館 ☎(0734)36-1331

- 7月6日～10日 エトワール洋画展 13日～17日 第2回関西二紀彫刻展 14日～17日 第4回樹展 20日～24日 大東文化大学和歌山県人会書展 27日～30日 第19回洗心書道会展(一般の部)

博物館 ☎(0734)23-2467

- (常設) 和歌山の文化財 特別陳列 文楽の人形(7月20日まで) 一般 50円 学生30円

紀伊風土記の丘 ☎(0734)71-6123

- 資料館 常設展 一般 50円 学生 40円～10円 紀伊風土記の丘への交通は 和佐線 岩橋バス停から南へ徒歩10分 鳴神線 鳴神団地バス停から東へ徒歩15分 *博物館と資料館は毎週月曜日と祝日の翌日が休館日です。

電波で結ぶ茶の間と県政

- テレビ「紀州アルバム」～黒潮の子運動～ 四国テレビ 7月2日・9日 7:45～8:00 毎日テレビ 7月14日 8:00～8:15 保健婦さんの仕事とおして、黒潮の子運動の意義と目的を語る。ラジオ「県庁だより」～県政の動きとお知らせ～ 和歌山放送(日曜を除く毎日) 12:30～12:35 映画「県政トピックス」 県内常設映画館で上映中